

請願第9号

『豊川市文化ホール』3館（小坂井・フロイデンホール、音羽・ワインディアホール、御津・ハートフルホール）の存続と、豊川市文化会館の改築は簡素にすること等を求める請願

【請願趣旨】

豊川市は2025年6月「豊川市文化会館等運営管理検討調査について」を公表しました。

そのなかで、豊川市文化会館・旧町文化ホール3館を大規模改修等で整備した場合、約104億円費用がかかると試算しています。また豊川市文化会館は大規模改修しても長寿命化は期待できないと述べ、「豊川市公共施設総合管理計画（平成28年）」で旧3町文化ホールの廃止・転用方針があることから、「新たな文化施設のあり方」をスピード感をもって取り組んでいくことが重要としています。令和7年度末までに基本的な考え方をまとめる予定です。

平成26年度実施の構造体耐久性調査では、豊川市文化会館は評価区分3（残存耐用年数20年程度未満）でした。一方、令和6年度に実施した旧町文化ホール3館の同調査では3館とも評価区分1（残存耐用年数40年程度）で改修すれば充分使えます。

旧町文化ホール3館は、合併以前の建設当時からよく研究して建てられ、地域のコーラスやピアノ発表会、学生の定期演奏会、サークル活動など、地域文化の創造・交流の拠点として、また演劇・演奏などが快適に鑑賞できる施設として定着しています。今後も市内外の地域における市民等の文化拠点として、旧町3館の文化ホールの存続を求めるものです。また豊川市文化会館の改築にあたっては大規模化は行なわず簡素なものとし、4館で『豊川文化ホール』とする「とよかわ文化芸術創造プラン」（平成24年度策定）の立場での整備を求めるものです。

【請願項目】

- 一、旧町3文化ホールは存続し、改修して継続的に使えるようにすること。
- 二、豊川市文化会館の改築にあたっては、大規模化せず簡素なものとすること。
- 三、豊川市文化会館・旧町3文化ホールの運営は、市が責任をもって運営すること。

四、「あらたな文化施設のあり方」は、市民・利用者から直接意見を聞いて検討すること。